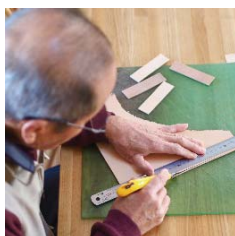


地域をつなぐ 革工房の提案

資源ロス・ゼロから考える事業の創出と連携

革仕事のお店 tasola



- 商品開発：本来廃棄するはずの革の端切れを再利用し、地域の高齢者（元職人）に在宅で革小物（コードストラップ・スマホスタンド）を製作してもらい、出来高で支払う仕組み
- 廃材活用：商品にならなかった革の端切れは、地元の製紐工場で金属磨き用として再活用
- 高齢化が進む能登人や和倉温泉旅館、地域企業とともに、SDGs目標を定め、連携して資源を有効活用しながら地域活性化につながる事業を展開

審査委員コメント

工房で発生する革の端切れを余すことなく利用し、地域活性化に貢献していこうとする取組です。高齢者に配慮した働き方を提案するとともに、地元企業の協力を得ながら活動の輪を拡げている点を評価します。今後の新たな商品開発や事業展開に期待します。